

平成 27 年 2 月 17 日  
鉄道局技術企画課

**鉄道分野における「平成 26 年度 標準化活動表彰」受賞者の決定について**  
～標準化活動表彰 表彰式を行います～

我が国鉄道システムの海外展開の推進のために、我が国鉄道技術の国際標準化及び国内標準化活動は重要な手段となっており、国土交通省は国際的素養と技術力を備えた人材による標準化活動の体制の充実・強化を進めています。近年は、平成 24 年に設立された国際標準化機構（ISO）の鉄道分野専門委員会（TC269）において、新規規格の提案や国際主査を務めるなど、日本の取組みが実を結びつつあります。

この度、10 名の方々（別添参照）を「平成 26 年度 標準化活動表彰」に表彰することとし、下記のとおり表彰式を行うこととなりましたのでお知らせいたします。

参考：「標準化活動表彰」は、鉄道分野における国際標準化および国内標準化活動に対して顕著な貢献をされた方の功績を称え、表彰状を授与し、以って受賞者の更なるご活躍と関係者による標準化活動の重要性認識の増進を目的として、平成 19 年度に創設された表彰制度であり、「鉄道技術標準化調査検討会」（委員長：正田英介 東京大学名誉教授、事務局：国土交通省、（公財）鉄道総合技術研究所、別添参照）が表彰します。

**【平成 26 年度 標準化活動表彰 表彰式】**

日 時： 平成 27 年 2 月 23 日（月） 16 時 00 分～17 時 00 分

場 所： 主婦会館プラザエフ 地下 2 階 クラルテ  
東京都千代田区六番町 15 番地  
TEL03-3265-8111

取 材： 表彰式は取材・撮影が可能ですので、ご希望される方は下記登録先まで電話登録をお願いいたします。  
なお、当日は 15 時 45 分までに会場へお越し下さい。

※ 受賞者、鉄道技術標準化調査検討会については別添 1～3 をご参照ください。

**【問い合わせ・登録先】**

鉄道局技術企画課車両工業企画室 中野、磯本  
代表：03-5253-8111（内線：57864）  
直通：03-5253-8524  
FAX：03-5253-1635

# 平成26年度 標準化活動表彰 受賞者 (敬称略・50音順)

## 標準化活動貢献者表彰 (注1)

|             |            |             |
|-------------|------------|-------------|
| かまた<br>鎌田   | けいいち<br>恵一 | 株式会社東芝      |
| くりた<br>栗田   | たけし<br>健   | 東日本旅客鉄道株式会社 |
| しおいり<br>塩入  | あきら<br>章   | 日本車輛製造株式会社  |
| すぎやま<br>杉山  | くにお<br>邦生  | 三菱電機株式会社    |
| はやしや<br>林屋  | ひとし<br>均   | 東日本旅客鉄道株式会社 |
| よこすか<br>横須賀 | やすし<br>靖   | 株式会社日立製作所   |

注1：鉄道分野における国際標準化及び国内標準化活動に対して顕著な業績を挙げたと認められる者に授与するものです。

## 標準化活動奨励者表彰 (注2)

|            |            |                 |
|------------|------------|-----------------|
| たかはし<br>高橋 | ひろたか<br>弘隆 | 株式会社日立製作所       |
| なかざわ<br>中澤 | しんいち<br>伸一 | 公益財団法人鉄道総合技術研究所 |
| ましも<br>眞下  | しんや<br>伸也  | 西日本旅客鉄道株式会社     |
| むらかみ<br>村上 | さとし<br>聡   | 日本信号株式会社        |

注2：鉄道分野における国際標準化及び国内標準化活動を推進するための活動に寄与し、かつ、今後とも継続的な活動が期待できると認められる者に授与するものです。

## 標準化活動表彰

別添2-1

鉄道技術標準化調査検討会は、鉄道分野における国際標準化及び国内標準化活動に対して顕著な業績を挙げた者を称え、表彰し、以って受賞者の更なる支援と関係者による標準化活動の重要性認識の増進を目的として、平成19年度より「標準化活動表彰」を行っています。平成23年度からは、顕著な業績を挙げた方に贈られる「標準化活動貢献者表彰」に加えて、今後の継続的な活躍を期待する方に贈られる「標準化活動奨励者表彰」が新たに設けられました。  
本年度の受賞者はそれぞれ以下の通りです。

### 平成26年度 標準化活動貢献者表彰 受賞者（50音順）

| 受賞者                 | 所属          | 受賞理由  |
|---------------------|-------------|---|
| かまた けいいち<br>鎌田 恵一   | 株式会社東芝      | 長年に渡り、IEC/TC9の列車内伝送システム規格及びマルチメディア規格の開発において、国内幹事として意見をとりまとめるとともに、国際エキスパートとして日本の意見を反映させた国際規格の発行に貢献した。                            |
| くりた たけし<br>栗田 健 氏   | 東日本旅客鉄道株式会社 | 長年に渡り、IEC/TC 9のパンタグラフ等数多くの集電技術に関する規格の開発において、国内委員や国際エキスパートとして日本の意見を反映させた国際規格の発行に貢献した。<br>また、集電技術に関するJIS原案作成委員会の委員等を務め国内標準化に貢献した。 |
| しおいり あきら<br>塩入 章 氏  | 日本車輛製造株式会社  | 長年に渡り、IEC/TC 9のRAMS規格の開発において、作業部会等の委員として規格原案作成に貢献した。<br>また、国内の認証機関設立検討の際に、自らの経験に基づく数多くの有用な意見を述べる等、認証機関設立に貢献した。                  |
| すぎやま くにお<br>杉山 邦生 氏 | 三菱電機株式会社    | 延べ3年間に渡り、ISO/TC269の車両用空調システム規格の開発において、国内主査として日本の意見を取りまとめるとともに、国際主査として日本提案の国際規格の開発に主体的に貢献した。                                     |
| はやしや ひとし<br>林屋 均 氏  | 東日本旅客鉄道株式会社 | 延べ5年間に渡り、IEC/TC 9の数多くの電力技術に関する規格の開発において、国内委員や国際エキスパートとして日本の意見を反映させた国際規格の発行に貢献した。  |
| よこすか やすし<br>横須賀 靖 氏 | 株式会社日立製作所   | 長年に渡り、JIS原案作成委員会、国際規格に関する国内委員会、作業部会等の委員を数多く務め、数多くの有用な意見を述べて標準化に貢献した。<br>また、信号と電力に関する国内の認証機関設立検討に関する会議の委員を務め、認証機関設立にも貢献した。       |

IEC:International Electrotechnical Commission(国際電気標準会議)の略。電気・電子分野の国際標準化機関。

IEC/TC9:Technical Committee 9の略。IECの鉄道分野専門委員会。

ISO:International Organization for Standardization(国際標準化機構)の略。電気・電子以外の分野の国際標準化機関。

ISO/TC269:Technical Committee 269の略。ISOの鉄道分野専門委員会

JIS:Japanese Industrial Standards (日本工業規格)の略。工業標準化法に基づき制定される日本の国家規格。

## 平成26年度 標準化活動奨励者表彰 受賞者 (50音順)

| 受賞者                  | 所属              | 受賞理由   |
|----------------------|-----------------|--|
| たかはし ひろたか<br>高橋 弘隆 氏 | 株式会社日立製作所       | 延べ3年間に渡り、IEC/TC 9のき電用変圧器規格及び地上電力蓄電システム規格の開発において、国内委員や国際エキスパートとして規格原案の作成に参加しており、今後とも一層の貢献が期待される。<br>また、電力に関する国内の認証機関設立検討に関する会議の委員を務め、認証機関設立にも貢献した。                  |
| なかざわ しんいち<br>中澤 伸一 氏 | 公益財団法人鉄道総合技術研究所 | 延べ2年間に渡り、ISO/TC 269のブレーキ規格の開発において、国内主査や国際エキスパートとして規格原案の作成に参加しており、今後とも一層の貢献が期待される。<br>また、JRIS規格のブレーキ部会の委員として同規格の策定に参加しており、今後とも一層の貢献が期待される。                          |
| ましも しんや<br>眞下 伸也 氏   | 西日本旅客鉄道株式会社     | 延べ4年間に渡り、IEC/TC 9のRAMS規格の開発において、作業部会等の委員として規格原案の作成に参加しており、今後とも一層の貢献が期待される。<br>また、社内でRAMSの勉強会を開催する等、知識の普及や理解の深度化に尽力するなど、今後とも一層の貢献が期待される。                            |
| むらかみ さとし<br>村上 聡 氏   | 日本信号株式会社        | 延べ3年間に渡り、IEC/TC9のソフトウェア規格の開発において、国内作業部会の委員として規格原案の作成に参加しており、今後とも一層の貢献が期待される。<br>また、IEC/TC9の都市鉄道の列車制御に関する規格及びRAMS規格の作業部会等の委員の下で資料作成等国際規格化活動に関与しており、今後とも一層の貢献が期待される。 |

IEC:International Electrotechnical Commission(国際電気標準会議)の略。電気・電子分野の国際標準化機関。

IEC/TC9:Technical Committee 9の略。IECの鉄道分野専門委員会。

ISO:International Organization for Standardization(国際標準化機構)の略。電気・電子以外の分野の国際標準化機関。

ISO/TC269:Technical Committee269の略。ISOの鉄道分野専門委員会

JRIS:Japan Rolling Stock Industries Standard(日本鉄道車輛工業会規格)の略。(一社)日本鉄道車輛工業会が制定する団体規格。

## 鉄道技術標準化調査検討会について

- ・平成12年10月、我が国鉄道の国際規格戦略の検討や国際規格に関連する国内規格制定の検討等を行い、鉄道の国際規格審議団体や国内規格作成団体の活動を支援するため、鉄道界の合意により「鉄道技術標準化調査検討会」（設置当初の名称は、国際規格調査検討会。平成19年7月に改称。）が設置された。
- ・事務局は、国土交通省、（公財）鉄道総合技術研究所が担当。

## 鉄道技術標準化の必要性について

### 1. 標準化の必要性

鉄道事業者が具体的な仕様を定める際に引用できる規格を整備することにより、信頼性や安全性向上、利用者サービス向上、環境保全の進展等、事業の発展に寄与。

### 2. 国際規格対応の必要性

国内の各種システムや考え方が国際規格に盛り込まれないと、メーカーにおいては、国際規格に準拠していない製品の国際競争力の低下、鉄道事業者においても、国際規格に準拠していない製品の調達が困難になり、新技術の導入が阻害されたりコストが増加するといったおそれ。

### 3. 国内規格との整合の必要性

国際規格が発行された場合、国内の強制・任意規格の制定や改定を行う際、国際規格を基礎とすることが、WTOのTBT協定（貿易の技術的障害に関する協定）で義務化。

したがって、国内の優れた鉄道システムを維持する観点からも、日本の鉄道システムを規格の形で海外に発信することが重要。